

はにい 先生とは

平成29年4月25日

3月14日（火）これから研究授業が始まる。
教室には、20人ほどの参観者。
生徒もやや緊張気味だ。

「授業前だけど、どうしてもみんなに伝えたいことがあるので
時間をもらいます」の前置きにかけて

先週、家庭科室で、古いガス器具が、想定以上の炎をあげ、
一時、調理実習が中断してしまった事実を、先生はゆっくりと説明しはじめた。
「今言わなくても…」と、周りの参観者の反応をみながら、友だちと目を合わす生徒。

「みんなと一緒に楽しく授業を行っている大切な場所を、不安にさせてしまった」こと
「今まで、起こっていないからといって、点検が甘かった」ことを先生は詫び、
「自分の口から、直接、一人ひとりに伝えたかった」と添えた。
はっきりとした丁寧な言葉に、生徒の動きが止まる。

「最後に、お願いがあります」

先生は大きく息を吸い、一人ひとりと目を合わせながら、静かに語りかけた。

「今まで以上に、安全に気を付けながら、いい授業をつくっていきたいです」

「そのためには、みんなの力がが必要です。」

一言一言かみ締め、ゆっくりと力強く続けていく。

「作業をともなう授業は楽しいけれど、危ない場面もあります」

「それをみんなにはもう一度、頭に入れておいてほしいです」

「楽しいとふざけるは違います」

先生の言葉が、1秒・・・2秒・・・止まる。

生徒もそのまま動かない。かつての場面を、共に回想しているかのようだ。

「みなさん、よろしくお願ひします」

生徒は、一斉にうなずく。

チャイムが鳴った。

「さあ！今日の授業をはじめましょう」

先生の笑顔に、スッと生徒の姿勢が伸びた。

『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合ひましょう。
ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp